

約8年ぶりに日本は新しい首相を迎えた。菅義偉新首相はアベノミクス継続を訴えるが、トップの交代はやはり新たな時代を感じさせる。新首相の経済政策「スガノミクス」の課題を考えたい。

これまで長期安定政治を進めることを掲げた権でも成果の乏しかった。第三の矢、「構造改革」を通じて成長を高めると主張している。自身は「2世」でなく、政界への「新規参入者」だったことが影響して

現状は労働市場では終身雇用の正規社員が主流で、雇用の流動性は乏しく新ビジネスへの「自助論」を愛読する英国の作家スマイルズの「自助・共助・公助」のうち第一、第二の人の動きが弱い。長し、「自助・共助・公助」の金融・財政政策を時間勤務を防ぐため残助のバランスの重要

安倍政権では「三本の矢」のうち第一、第二の人の動きが弱い。長し、「自助・共助・公助」の金融・財政政策を時間勤務を防ぐため残助のバランスの重要性を説き、民

結果として「スガノミクスへの期待」を説き、民



業規制は強化された間企業の自由な挑戦や業務など制約が多く利用が広がらない。働く女性が増えたが、低賃金など労働条件の悪い。業規制は強化された間企業の自由な挑戦や業務など制約が多く利用が広がらない。働く女性が増えたが、低賃金など労働条件の悪い。

フレマインドは脱却できたかもしれない。しかし財政赤字と中央銀行の資産は膨張、政策運営の先行きが厳しく、景気刺激策はあまり期待できそうになる。

非正規社員が中心だ。霞が関もビジネスも国民も、伸び伸びと活躍できることがコロナ時代を日本が生き抜く肝で、まん延した「付度(そんたく)文化」

い。再びデフレに陥らないようにするのが大事で、どうすべきか。

新首相は規制改革を払拭(ふっしょく)してほしい。

や、省庁の垣根を払ってデジタル政策の一元